

「流域計画・流域管理課題分野」(平成26年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
行政と住民間の連携を考慮した河川環境改善と水害リスク軽減に関する研究（研究期間：H26年～H28年）	琉球大学 神谷 大介	C
<研究概要> <p>近年豪雨災害が頻発しており、自助・共助の重要性が指摘されている。また平時においては、河川管理者と住民の協働による河川環境改善の取り組みが広がってきている。本研究では、行政と住民および住民間の関係が、平常時における住民が主体となった河川環境改善の取り組みの活性化、災害時における人的被害軽減に寄与することを示すことを目的として、前者については中国地方を対象に、後者については太田川流域の安芸太田町を対象に研究を行った。</p>		
<事後評価コメント> <p>行政と近隣住民からの防災情報に対する避難行動意志の分析が整理されており、一定の研究成果があった。しかしながら、当初研究目的としていた平常時の河川環境改善活動と水害リスク軽減を関連付ける定量的な検証が不十分であったと考えられる。</p> <p>今後、本研究の目的を十分に達成するため、両者の関連性の定量的な分析を行い、計画論へ展開するなど、継続的な研究が期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い